

「かごしま木づかい推進事業(森林整備推進等基金事業)」
による地域材活用の事例。

1. 薩来園ケアホーム(薩摩川内市)

2010年6月納入

鹿児島県産スギ使用

2. しあわせの杜ケアレジデンス(始良市)

2011年4月納入

鹿児島県産スギ使用

3. キッズランド児童館(南さつま市)

2010年10月納入

鹿児島県産スギ使用

4. 介護施設「龍樹」(曾於市)→

2013年1月納入

鹿児島県産スギ使用



介護施設「龍樹」

○理事長の談話

「木や見慣れたスギの木目が温かみがあると園の皆さんや来園者へ好評です。」

知事も視察にいらっしゃいました

5. せいざん病院(西之表市)→

2013年1月納入

種子島産(一部鹿児島県産)スギ使用

○事務局長の談話

「スギの活用で、病院内に落ち着き、温もりが感じられ、入院患者様、見学に訪れる方々に好評を得ています。」



せいざん病院

県行政との連携により、民間物件においても県産材活用の事例が増えてきています。

鹿児島県環境林務部かごしま材振興課からのコメント

「県では、県産材の利用拡大を図るため、国の事業を活用し、モデルとなる学校関連施設や社会福祉施設等の整備を支援しています。

県産材を積極的に利用することは、地域経済の活性化はもとより、森林の適切な整備や地球温暖化の防止に貢献することになります。

ここで紹介されている圧密フローリングには、県産材が使用されています。

これからも、公共建築物の木造・木質化を推進し、かごしま材の利用拡大に取り組んで参ります。」